

ESD

国際シンポジウム in 奈良 2026

International Symposium on
Education for Sustainable Development in Nara 2026

将来の予測が困難な現代社会において、持続可能な未来をいかに築くか。本シンポジウムでは、災害リスク削減(防災・減災)、気候変動、そして歴史文化交流を主要なテーマに掲げます。

「学術」「教育」「ユース(次世代)」の3つのセッションを軸に、国際的な協働研究の実践と若者の参画を促し、持続可能な開発のための教育(ESD for 2030)における強固なパートナーシップの構築を促進します。

共に学び、共に創る。
持続可能な未来を確かなものにする
国際パートナーシップの構築へ

Program プログラム

Keynote Speech ー基調講演ー

林川 真紀 氏 ユネスコ・ジャカルタ事務所 所長



1993年ユネスコ入職。北京・バンコク事務所やUNICEFにて、識字・ジェンダー教育など「万人の教育(EFA)」推進に従事。本部教育局での3つの課長職、Education 2030部長などを経て、2023年7月よりジャカルタ事務所長に就任。

Academic Session ー学術のESDへの貢献ー

モデレーター: 道田 豊 氏

ユネスコ政府間海洋学委員会(IOC)議長(東京大学総長特使)

堀尾 多香 氏

国連大学サステナビリティ高等研究所
大学院プログラム事務局長

ムザイリン・アッファン 氏

インドネシアシアクアラ大学国際所長

セット・セン 氏

カンボジア プノンペン教員養成大学 学長

高 翔 氏

笹川平和財団 海洋政策研究所 主任研究員

ESD Session ーESDの深化と実装ー

モデレーター: 及川 幸彦 氏

奈良教育大学学長補佐、ESD・SDGsセンター長

キム・ピルソン 氏 & キム・ジンスク 氏

韓国釜山国立大学地域起業教育研究センター

大津山 光子 氏

特定非営利活動法人SEEDS Asia 事務局長

浅野 亮 氏

気仙沼市・宮城教育大学連携センター

(気仙沼市教育委員会) 主任運営員

有馬 一彦 氏

奈良教育大学附属中学校 教頭

Youth Session ーユースのESDへの参画ー

モデレーター: キム・ヒョンチョル 氏

未来価値教育研究院 院長

キム・スウォン 氏 & キム・ヨンベ 氏

韓国ユース代表・韓国ユース指導者(小学校教諭)

インドネシアからユース代表

調整中

片山 世菜 氏

奈良女子大学文部人間科学心理学コース2年生

木下 結等 氏

奈良教育大学大学院専門職学位課程2回生

(奈良教育大学ユネスコクラブ)

Wrap up Session ー持続可能な社会への提言ー

林川真紀氏(ユネスコ・ジャカルタ)、道田 豊氏(IOC)、堀尾多香氏(UNU-IAS)

黒部一隆氏(環境省環境教育推進室長)、キム・ヒョンチョル氏(ERI4FV)

モデレーター: 及川 幸彦

2026
2/21 SAT

9:30~17:40

参加無料(要申込)

会場 奈良教育大学 講堂

定員 会場 200名 配信 500名

ハイブリッド開催 ※同時通訳(日・英)あり

詳細・お申込み



ESD 国際シンポジウム in 奈良 2026

International Symposium on Education for Sustainable Development in Nara 2026

Program プログラム

本シンポジウムでは、「防災・減災」「気候変動」をキーワードに、「学術」「教育」「ユース」の各セッションの議論をつないで、持続可能な世界・未来の実現に向けて国境を越えたマルチステークホルダーによるESDパートナーシップの構築をめざします。

Opening Ceremony — 開会行事 —

9:30-9:50

Keynote Speech — 基調講演 —

9:50-10:20

林川 眞紀氏

ユネスコ・ジャカルタ事務所 所長

国連で「教育」「科学」「文化」を担当するユネスコの立場と経験から、その施策やプロジェクトを踏まえて持続可能な社会の構築に向けた諸課題や今後の展望について、その後の3つのセッションの基盤となる講演をいただきます。

Academic Session — 学術のESDへの貢献 —

10:30-12:00

モデレーター 道田 豊氏

ユネスコ政府間海洋学委員会(IOC)議長(東京大学総長特使)

学術の視点から、社会の「持続可能な発展(SD)」に資する各分野からの最新の研究成果や実践を共有するとともに、ESD推進に向けた各ステークホルダー間の連携と国際的なパートナーシップの構築について議論します。

堀尾 多香氏

国連大学サスティナビリティ高等研究所大学院プログラム事務局長

セッ・セン氏

カンボジア プノンペン教員養成大学 学長

ムザイリン・アッフアン氏

インドネシア シアクアラ大学国際所長

高 翔氏

笹川平和財団 海洋政策研究所 主任研究員

ESD Session — ESDの深化と実装 —

13:10-14:45

モデレーター 及川 幸彦

奈良教育大学学長補佐、ESD・SDGsセンター長

学術の成果を踏まえて、教育の視点から「持続可能な社会の創り手」をいかに育成していくのかについて、大学、教育委員会、学校、NPOの各教育分野からの実践事例を踏まえて、ESDの深化と国内外の連携について議論します。

キム・ピルソン氏&キム・ジンスク氏

韓国釜山国立大学地域起業教育研究センター

浅野 亮氏

気仙沼市・宮城教育大学連携センター(気仙沼市教育委員会) 主任運営員

大津山 光子氏

特定非営利活動法人 SEEDS Asia 事務局長

有馬 一彦氏

奈良教育大学附属中学校 教頭

Youth Session — ユースのESDへの参画 —

15:00-16:30

モデレーター キム・ヒョン Chol 氏

未来価値教育研究院 院長

各国のユースから防災・減災、気候変動等に関する具体的な実践事例(Action)について国を越えて共有し、持続可能な未来への参画と貢献について次世代を担うユースの視点から議論するとともに現世代へのメッセージを発信します。

キム・スウォン氏&キム・ヨンベ氏

韓国ユース代表・韓国ユース指導者(小学校教諭)

片山 世菜氏

奈良女子大学文学部人間科学科心理学コース2年生

インドネシアからユース代表

調整中

木下 結等氏

奈良教育大学大学院専門職学位課程2回生(奈良教育大学ユネスコクラブ)

Wrap up Session — 持続可能な社会への提言 —

16:45-17:30

3つのセッションの「学術」「教育」「ユース」の議論をつなげて、将来の予測が困難な時代にいかに持続可能な社会を実現していくのか、各分野のエキスパートが国際的な視野からその方向性や方策について総括的に議論します。

林川眞紀氏(ユネスコ・ジャカルタ)、**道田 豊氏**(IOC)、**堀尾多香氏**(UNU-IAS)

黒部一隆氏(環境省環境教育推進室長)、**キム・ヒョン Chol 氏**(ERI4FV)

モデレーター 及川 幸彦

Closing Session — 閉会行事 —

17:30-17:40

問い合わせ先

奈良教育大学 教育研究支援課 ESD 事務担当 西田・古川

TEL: 0742-27-9367 / FAX: 0742-27-9147 / Email: k-soumu@nara-edu.ac.jp